

事業所名

Space Kids 沖縄 (第2教室・ひまわり)

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

1日

法人（事業所）理念	・スペースキッズ沖縄の理念は、子どもたちから「その日、いち日、僕は、私は幸せだったよ」との言葉をもらうことを目標とし、児童と保護者の「願いと希望」の実現に向けて職員一丸となって取り組むことです。						
支援方針	・建物の1階は、低学年以下、2階は高学年以上で、教室が分かれており、それぞれの学齢に合わせた療育活動を行います。一人ひとり違う、現在の状態から、願う状態にするため、「個別支援計画書」に沿った方針に照らし合わせ、成長に違いが作れるようベストを尽くします。						
営業時間	10時	0分	17時	0分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<p>* 基本的な生活習慣を確立し、自立した生活を送るための支援をします。</p> <p>■ 具体的な支援内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活リズムの安定：毎日のスケジュール確認、視覚支援（タイマー・絵カード）を活用します。</li> <li>・食事の自立：箸・スプーンの使い方、適切な食事姿勢の指導、配膳の習慣づけをします。</li> <li>・身だしなみ・衛生習慣：歯磨き・手洗いの指導、適切な衣服の着脱、汗をかいた後の着替えを指導します。</li> <li>・安全対策：道路の渡り方（信号・横断歩道）、火や刃物の取り扱いを指導します。</li> </ul>					
	運動・感覚	<p>* 運動能力や感覚統合を高め、日常生活の動作をスムーズに行うための支援をします。</p> <p>■ 具体的な支援内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・粗大運動（大きな動き）：バランスボール、トランポリン、マット運動で体幹を強化します。</li> <li>・微細運動（手先の動き）：ハサミの使い方、ビーズ通し、ボタンの留め外しをします。</li> <li>・感覚統合：砂遊び・粘土遊びで触覚の慣れ、回転遊具で前庭覚を刺激、音への慣れるよう支援します。（ヘッドフォン活用）</li> </ul>					
	認知・行動	<p>* コミュニケーション能力や集団生活に適応する力を育てる支援をします。</p> <p>■ 具体的な支援内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ・会話の練習：「おはよう」「ありがとう」などの挨拶をロールプレイで習慣化します。</li> <li>・ルール理解：順番を守る練習（ボードゲーム・カードゲーム活用）をします。</li> <li>・協力・協働：グループでの作業をします。（工作・掃除）、役割分担（リーダー・記録係）</li> <li>・感情コントロール：「深呼吸カード」「気持ちを伝えるカード」を使用し、衝動的な行動を予防します。</li> </ul>					
	言語 コミュニケーション	<p>* 言葉の理解や表現力を高め、学習の基盤をつくる支援をします。</p> <p>■ 具体的な支援内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙の拡充：絵カードで名詞・動詞を学ぶ、しりとりで語彙力強化します。</li> <li>・会話のキャッチボール：「○○した？」→「はい/いいえ」の練習、自分の気持ちを一言で表現します。</li> <li>・数・文字の学習：ひらがな・数字の認識（カード・ゲーム活用）、仲間分け・順序の学習をします。</li> <li>・話の理解：絵本の読み聞かせ、物語の順番並べ替えでストーリー理解を深める。</li> </ul>					

	人間関係 社会性	<p>*感情を理解し、適切に表現し、行動をコントロールする力を育む支援をします。</p> <p>■具体的な支援内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感情の認識：「今の気持ちは？」と鏡で確認、表情カードを使った感情学習をします。</li> <li>・気持ちの調整：イライラ時のクールダウンをします。（クッションを握る、深呼吸、カウントダウン）</li> <li>・自己肯定感の向上：「できたねボード」に成功体験を記録、友達やスタッフからの承認を受ける機会を増やす。</li> <li>・問題行動の予防：「困ったときの対処カード」を活用し、衝動的な行動を防ぎます。</li> </ul>	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の育児相談、ペアレントトレーニング、きょうだい児の負担軽減支援を実施します。さらに、学校・福祉サービス・相談機関と連携し、家庭と地域全体で子どもの成長を支えます。</li> </ul>	移行支援	<p>*移行支援は、就学・進学・卒業後の社会生活へのスムーズな移行を目的に実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学齢ごとの支援：小→中・中→高・高→就労や生活支援への準備をします。</li> <li>・生活・学習支援：時間管理、通学・通所の自立、基礎学力の定着を目指します。</li> <li>・社会性の向上：集団活動の適応練習、職場体験や公共施設の利用練習をします。</li> <li>・進路相談：保護者・学校と連携し、適切な進学・就労先を検討します。</li> <li>・個別の発達状況に応じた支援を行い、安心して次のステップへ進める環境を整えます。</li> </ul>
地域支援・地域連携	<p>*子どもの社会参加を促し、地域全体で支える仕組みを構築します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・福祉・医療機関と連携し、学習・生活・発達支援を強化します。</li> <li>・地域交流を通じ、イベント参加や公共施設での体験活動を実施します。</li> <li>・防災・安全対策として避難訓練や安全マップ作成を推進します。</li> <li>・地域資源の活用で移動支援や就労支援につなげます。</li> <li>・地域と協力し、子どもの自立と社会参加を支援します。</li> </ul>	職員の質の向上	<p>*職員の専門性を高め、質の高い支援を提供するための取り組みを実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修・勉強会：障害特性、支援技法、法改正対応の研修を定期開催する。</li> <li>・OJT・実践指導：児発管による実践指導、ケースカンファレンスの実施。</li> <li>・評価・フィードバック：代表による定期的な面談や業務評価でスキルアップ支援をします。</li> <li>・チーム連携強化：職員間の情報共有を促進し、支援の質を均一化。</li> <li>・外部機関との連携：専門家の講師招聘、他施設との交流研修を実施。</li> <li>・職員の成長を支え、より質の高い支援を提供できる体制を構築します。</li> </ul>

主な行事等

- 社内研修（年9回）
    - ・「救急対応」「障害者虐待防止」「コンプライアンス・BCP」「5領域」「心理系」など、基礎から実践まで段階的に実施します。
    - ・社内大会（7月・1月）＊会社全体の半年間の取り組みを、各事業部ごとに発表します。
    - ・避難訓練（年4回）
    - ・部分訓練（6月・12月）、総合訓練（9月・3月）で実施します。
    - ・消防・避難器具点検（5月・10月）
    - ・ケース会議（年4回）4月・7月・10月・1月に開催します。
  - 保護者会・自己評価
    - ・保護者会（5月・11月）
    - ・自己評価（2月実施、4月公表）
    - ・地域清掃（年3回）5月（でいご公園）、6月（北名城ビーチ・自治会連携）、11月（喜屋武公園）
  - イベント
    - ・夏祭り（8月）、クリスマス（12月）
    - ・次年度計画（3月）
- \*職員・保護者の意見を反映して作成します。